

建設工事受注動態統計調査の不適切処理に係る再発防止策検討・国土交通省
所管統計検証タスクフォース（第6回） 議事概要

1. 日時：令和4年8月10日（水）14:00-15:00
2. 場所：中央合同庁舎3号館4階幹部会議室
3. 議事概要：

【資料説明】

- 大澤政策立案総括審議官より、建設工事受注動態統計調査の遡及改定の結果について説明し、続けて「国土交通省統計改革プラン」（案）の内容について説明。

【構成員・顧問有識者からの主な意見】

＜改革プラン（案）＞

- 統計研修の具体的な計画を示した方が良いと思う。また、管理職ミーティングや若手担当職員等によるグループディスカッションの充実等、今から取り組めることはすぐに始めていった方が良い。
- 統計改革プランの中でも謳われているように、統計人材のキャリアパスの形成は非常に重要であり、優秀な人材を統計部門で生かせるような体制整備を促進していただきたい。
- 今回統計ごとの人員体制を含めた作業体制を把握するための調査を行っていただいたが、統計業務にかかる適切な体制にあたっては他省庁の統計業務の体制と比較する等、横の連携も強化していただくことが重要と考える。
- 人材育成に関して既に統計研修は行われているが、能動的に自分たちで企画立案するところまでの研修体制はできていないので、将来的にはさらに発展的な人材育成が必要になってくると考える。
- 今後絶えず統計を改善し続けるにあたって、職員が統計人材として誇りを持って仕事ができる職場の風土を作り上げていくことは最も重要な観点であり、統計業務の改善に向けた職員の努力が評価されることを実感できる職場の雰囲気を作ることが大切である。
- 今回の統計改革プランは今後「必要に応じた見直しを行う」ということが非常に重要であり、プランで提示された取組についてもうまくいかなかったら引き返してもう一度考え直す等、柔軟に見直していくべきである。

- 国交省全体にEBPMの推進に停滞が見られるとの厳しい危機感に立って、引き続き、しっかりと取り組んでいただきたい。

【国土交通大臣指示】

- 国土交通省が所管する基幹統計及び一般統計の点検、実効性のある再発防止策の検討等について、顧問有識者には精力的に御審議をいただいた。熱意を持って御指導をいただき、大変感謝。
- 今後は、本プランに基づき、国土交通省が一丸となり統計改革を実現することが肝要であり、本プランに基づき、再発防止や統計の品質改善に向けた取組を進めるよう、関係幹部職員において積極的な取組をお願いしたい。
- 公的統計は、国民にとって合理的な意思決定を行うための基盤となる重要な情報であり、証拠に基づく政策立案を支える基盤。今回の事態は、国土交通省の職員が一つ一つ時間をかけて築いてきた信頼を一瞬のうちに壊しかねない事態だという危機感を持ち、それは、統計にとどまらず、国土交通行政全般への信頼に及ぶものである。一日も早く国民からの信頼を回復できるよう、幹部職員、そして国土交通省の職員一人一人、積極的に取り組んでいただきたい。
- 統計が組織の中でしっかりと重要視され、職員が誇りを持って頑張れる組織風土を、私も大臣として先頭に立って作ってまいりますので、今後も御指導願いたい。